

# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成24年3月1日)

[件 名]

- 1 倉吉市堺町地内における微量PCB含有電気機器の発見と対応について  
(水・大気環境課・循環型社会推進課)・・・1
- 2 第30回全国都市緑化とっとりフェアへの電気自動車の協賛等について  
(公園自然課)・・・2

生活環境部

# 倉吉市堺町地内における微量PCB含有電気機器の発見と対応について

平成24年3月1日  
循環型社会推進課  
水・大気環境課

倉吉市堺町2丁目の建物（旧ぎゃらりい布袋堂）屋上に放置されたトランスからPCBの含有が確認されたことから、機器周辺の油固形物と建物周辺の雨水側溝の底質（土壌）を検査したところPCBが検出されましたので、その対応等について報告します。

## 記

### 1 経緯

- (1) 旧ぎゃらりい布袋堂の現所有者から、屋上に放置してある電気機器（トランス4台、遮断装置1台）のPCB含有の有無について相談があり、検査したところトランス1台から微量PCBの含有を確認した。
- (2) PCBを含む油が漏れている可能性があることから、当該機器の周辺固形物及び建物周辺側溝の底質（土壌・13箇所）、水質（6箇所）のPCB含有の有無を検査したところ、周辺固形物及び側溝の底質（4箇所）からPCBが検出された。  
⇒2月24日、27日：検査結果を公表

#### <PCB含有の有無の確認>

検査対象	検査結果
トランス（1台）	PCB含有量：49mg/kg（微量）
上記の周辺固形物	PCB含有量：17mg/kg
トランス（3台） 遮断装置（1台）	検出されなかった

#### <建物周辺の雨水側溝の底質（土壌）、水質>

検査対象	検査結果
底質（1箇所）	0.2mg/kg
底質（3箇所）	0.1mg/kg
底質（9箇所）	検出されなかった
水質（6箇所）	検出されなかった

※底質の除去基準値：10mg/kg

### 2 対応内容

- (1) 拡散防止の措置等  
PCBが検出されたトランスをブルーシートで覆い拡散防止措置を実施した。また、公共水域の常時監視水質測定結果から、天神川への汚染については認められないことを確認した。
- (2) 周辺住民への説明会の実施  
2月24日、19時から堺町二丁目公会堂において周辺住民に対して説明会を実施した。  
（倉吉市も同席）

### 3 今後の対応

- (1) 電気機器の所有者（旧ホテイ堂役員）に対して、当該機器の適正な保管等の指導を行う。
- (2) PCB汚染範囲内の底質（土壌）を撤去し、撤去後、再度水質検査を行う予定。
- (3) 再発防止のため、市町村、大型建築物の所有者、宅地建物取引業者等に対して注意喚起と情報提供の依頼を行う。

# 第30回全国都市緑化とっとりフェアへの電気自動車の協賛等について

平成24年3月1日

公園自然課

このたび、平成25年秋に県と鳥取市の共催により開催される第30回全国都市緑化とっとりフェア開催の趣旨に賛同いただき、フェアへの企業協賛第1号として鳥取三菱自動車販売株式会社様より電気自動車を協賛（無償貸与）いただくこととなり、下記のとおり車両引渡式を執り行うこととなりました。

また、とっとりフェアのマスコットキャラクターとなる「花トリピー」のデザインを決定しましたので、併せて報告いたします。

## 記

### 1 協賛車両引渡式

- (1) 日時 平成24年3月1日（木） 午後1時30分から1時50分まで
- (2) 会場 鳥取県庁第2庁舎正面玄関前
- (3) 式の概要  
電気自動車の除幕、花トリピーの発表、キーの引き渡し、感謝状の贈呈、挨拶
- (4) 出席予定者（敬称略）  
（提供者側） 横井英雄（三菱自動車工業（株）執行役員）、野村泰弘（同EV国内推進部長）、井上 智（鳥取三菱自動車販売（株）代表取締役専務）ほか  
（主催者側） 平井鳥取県知事、竹内鳥取市長

### 2 協賛の内容

- (1) 協賛車両：三菱ミニキャブ・ミーブ  
電気自動車ならではの高い環境性能と、商用車として要求される経済性、積載性、走行性能、信頼性の両立が図られた商用電気車です。  
■参考価格／約320万円（付属品を含む） ■発売開始／平成23年12月
- (2) 貸与期間  
平成24年3月1日から平成25年11月30日までの1年9カ月間
- (3) 協賛車両の活用  
排出ガスがでないメリットを生かし、草花をクリーンな環境で運搬するほか、マスコットキャラクター花トリピーを乗せて県内外へのPRキャラバンを行い、とっとりグリーンウェイブの象徴として全国都市緑化とっとりフェアをPRしていきます。
- (4) 協賛車両のラッピング  
全国都市緑化とっとりフェアのロゴをはじめ、フェアマスコットキャラクター「花トリピー」、環境保全等の県民運動「とっとりグリーンウェイブ」などでラッピング予定

↓ラッピングイメージ →



### 3 花トリピーのデザインを決定

花トリピーのデザインを右図のとおり決定し、協賛車両にラッピングしました。

#### (1)花トリピーのデザイン

- ・ 二十世紀梨の花（県の花）の帽子をかぶり、花かごには、らっきょうの花（鳥取市の花）や山陰菊（フェアのメインフラワー候補）などが入っています。
- ・ 緑のスカーフを巻き、双葉がはためいています（トッキーノの頭の双葉と共通のデザイン）



#### (2)花トリピーの活用

- ・ 全国都市緑化とっとりフェアをPRするマスコットキャラクター。
- ・ 第64回全国植樹祭のキャラクター「トッキーノ」とコンビを組んで、「とっとりグリーンウェイブズ」として活動。県内で自然環境の保全活動等に取り組む方々を「美鳥（みどり）の大使」に認定し、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」をPRし、鳥取県の緑の豊かさ、環境の良さを全国にアピールします。



頭に双葉のついた第64回全国植樹祭のマスコットキャラクター「トッキーノ」(上)。コンビ名「とっとりグリーンウェイブズ」として、花トリピーと活動予定

### 【参考】第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」

- (1)開催時期 平成25年9月21日(土)～11月10日(日)の51日間
- (2)会場 <主会場> 湖山池公園お花畑ゾーン(有料)  
<サテライト会場> 東郷湖羽合臨海公園、とっとり花回廊
- (3)テーマ ともに育てる身近な緑 ～水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから～
- (4)開催主体 主催者：鳥取県、鳥取市、財団法人都市緑化機構  
事業主体：全国都市緑化とっとりフェア実行委員会(H23.10.18設立)
- (5)目標入場者数 30万人
- (6)事業費 概ね12億円
- (7)緑化フェアへの参加・協賛

県民・企業・団体など、多くの主体と一体となって盛り上げていくフェアを目指しています。フェア協賛企業の第1号となった鳥取三菱自動車販売株式会社に続き、今後、庭の出展や催事への参加、協賛金、物品や設備の提供など多彩な形態で、多くの企業・団体に参加・協賛を呼びかけていく予定です。